

2025

6.4 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_TLO_4BDGSnSBRM0Eh3aeUQ

【技術支援】九州大学 Q-AOS

温泉と健康： 腸内細菌叢から考える健康影響

3 すべての人に
健康と福祉を11 住み続けられる
まちづくりを15 陸の豊かさも
守ろう

Key Words

温泉

健康

腸内細菌叢

武田 美都里 特任助教

都市研究センター

京都府京都市で生まれました。京都大学大学院生命科学研究科にて修士号を取得後、京都大学大学院医学研究科にて博士号（社会健康医学）を取得しました。その後ウィーン医科大学 Max Perutz Labs にて短期研究を行い、2021年から京都大学にて研究員として乳がんの研究に従事しています。現在も客員研究員として研究を行っています。2022年に九州大学都市研究センターにて学術研究員に採用、その後、特任助教として主に温泉の健康効果について研究しています。他にも環境や健康に関する様々な研究を行っています。

温泉は古くから健康に良いとされ、世界中で入浴や飲用に利用されてきました。日本は、世界でもトップクラスに温泉源が多く、これらは伝統的に様々な効果があると云われています。その効果として、高血圧の改善および予防、リウマチや強直性脊椎炎による痛みの緩和、皮膚疾患の治療などが報告されています。

演者はこれまでに、温泉入浴習慣と良好なメンタルヘルスの関係について示し、さらには温泉入浴が健康な人の腸内細菌叢に影響を与えることを示しました。この腸内細菌叢の変化は泉質によって異なり、特に炭酸水素塩泉ではビフィズス菌が増えるという体に良い影響がみられました。温泉が健康に与える影響について、腸内細菌叢の観点を含めた我々の研究内容の一部について紹介したいと思います。